

平成30年度 第1回 春日区地域協議会 次 第

日時：平成30年4月11日（水）午後6時30分～
会場：上越市市民プラザ 第4会議室

延 90分

1 開 会

【5分】

2 議 題

(1) 協議事項について **【15分】**

①平成30年度のスケジュールについて

資料1

(2) 自主的審議事項について

①分科会

資料2

資料3

【50分】

②全体会

【10分】

3 その他

(1) 次回開催日と内容 **【5分】**

(2) その他 **【5分】**

4 閉 会

項目	詳細	4月 【第1回地域協議会】	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
A 自主的審議	研修				研修内容、講師の候補 (または管内視察等)を検討 【分科会】ごとに行う？ 【全体】で行う？		研修の実施						地域活動支援事業「事前説明会」の開催	
	審議	(分科会スケジュールの検討)												
	町内会長との意見交換会	分科会ごとに別途審議 【資料No.2】関連					調整・開催 (H29年度実績:11/7)				・自主的審議 ・町内会長との意見交換会 の中で見えてきた課題等を次年度の活動支援事業(募集要綱・採択方針等)に活かす			
B 地域活動支援事業	平成30年度	募集～審査～採択 ・募集期間(4/2～4/23) ・課題の共有と個別質問の確定(5/8) ・プレゼンテーション日(5/23) ・意見交換会(6/6) ・審査、採択日(6/27)			採択事業の検証・課題等の洗い出し									
	平成31年度										募集要綱・採択方針等の確認(自主審議の反映含む)			募集開始
C その他 ※	市からの諮問・報告事項等	随時												
	地域活動フォーラム										H28年度までの実績:12月上旬		H29年度実績:3/4	

※「会長会議」は表から除いている

★

★

■はいずれか1回開催

【メモ】

H30年度

項目	詳細	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

【参考】H31年度(大まかなスケジュール)

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

※協議会の開催頻度は月1回を想定
 ※地域活動支援事業の審査採択は4～6月
 ○委員任期は、H32年4月28日までのため、32年度の表は割愛した。
 ○和暦の変更は省略した。

平成30年度 春日区地域協議会 「〇〇〇〇 分科会」 スケジュール

記載例

H30年度

出来るだけ詳しく記載するとすべきことがカギ

項目	詳細	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
情報収集	関係する活動団体との意見交換と情報収集	企画 ②											
課題の整理	団体からあがった意見の整理			整理									
全体の整理	団体からの課題とこれまで審議してきた課題の融合・整理				融合・整理								
具体審議	融合・整理した課題を改めて審議					審議 ⑥							
市からのヒアリングと整理	これまで審議してきた課題解決策について、市から助言を得て方向性を出す								ヒアリング実施		方向性を整理		

協議会の中での自主審議を含めて、全6回を予定

【参考】H31年度(大まかなスケジュール)

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
意見書のたたき台作成	作成											
市長へ提出				提出								
意見書に該当しない課題解決策について関係団体と調整					調整							
実施体制の検討							検討					
課題解決に向けた取組								取組				

任期中の課題解決策を目指して、「大まかなスケジュール」も記載し、ゴールを見据える

「意見書」は行政に対する提案・要望で「ゴール形態」の1つの姿

行政にできないこと、春日区市民がやるべきこと、頑張ってみることは関係団体と調整し、団体等が取り組む

※協議会の開催頻度は月1回を想定
 ※地域活動支援事業の審査採択は4~6月
 ○委員任期は、H32年4月28日までのため、32年度の表は割愛した。
 ○和暦の変更は省略した。

会議録 [抄]

- 1 会議名 : 平成 29 年度第 12 回春日区地域協議会
- 2 議題 : (3) 自主的審議事項について ①分科会 ②全体会
- 3 開催日時 : 平成 30 年 2 月 28 日 (水) 午後 6 時 30 分から午後 8 時 25 分まで
- 4 開催場所 : 上越市市民プラザ 第 4 会議室
- 5 出席した者 (敬称略) :
池杉清子、今井 孝、大竹明德 (副会長)、金子隆一、佐藤美奈子
渋谷 俊 (副会長)、田沢 浩、田中幸晴、谷 健一、新野武宣
野澤武憲、藤田晴子、星野 剛、松田光代、吉田幸造 (会長)
吉田 実、鷺澤和省 (欠席 3 人)

8 発言の内容 (要旨)

「(3) 自主的審議事項について」分科会に入る。この後、全体会で報告願う。

— 分科会 (50分程度) —

【吉田会長】

各班から発表願う。

【佐藤委員】

いつもは7人だが、今日は4人しかいなかったもので、なかなか意見がまとまらなかった。福祉班では「あらゆる世代が心豊かに、健康で暮らせる春日区となる」ことを目的に進めている。

前回は、地域を元気にする力を持っているであろう、春日区にある様々な団体から意見をお聞きして、理想の春日区をつくるために、活動団体を次回までに挙げて来るようにということで終わっており、調べていくうちに、上越教育大学や春日中学校の各部活動、社会福祉協議会、公民館、青少年育成会議、春日神社等、沢山挙がってきた。

「あらゆる世代」、「心豊かに」、「健康で暮らせる」というのがそれぞれ目的の中に入っているので、民生委員・児童委員であれば各世代の困っていることを知っているであろうと考えた。また、地域包括支援センターであれば、地域の高齢者の困りごとを把握しているだろう。NPO団体であれば、それぞれの持ち味から得られている情報があるだろう。社会福祉協議会であれば、地域を広く看ているであろうということで、「あらゆる世代」の情報が聞けるのではないかと。「心豊かに」ということでは、あらゆる社会活動、趣味の活動をしている団体から話を聞くことも大事なのではないかと話が出た。市が掲げている「共生社会の実現における取組」により「人に優しいまちづくり」も織り交ぜて、私たちも知る必要があるのではないかと話も出た。最終的に

は、春日区で活動している団体がまだまだ沢山ある。いろいろなところから話を聞くのは大切なのだが、今の段階では、団体を挙げて、活動概要を知ることから始めようということで、話がまとまった。

それから福祉班として、どんなことをしていくかを今後は決めていこうということで終了した。以上である。

【藤田委員】

観光では、賑わい作りをして観光につなげていく。春日山城の再建に「ふるさと納税」を活用するのも大切ではないか。そのためには、「青芋の饅頭」を開発してはどうかという話が出た。あれが春日山だというシンボルが欲しいということで、埋蔵文化財センターの活用や、のぼり旗が常時立てられるようなかたちをつくらなければいけないということだった。春日山駅には、春日山らしい発着メロディーが必要ではないかという意見も出た。そういうことを、実らせていくのがこの地域協議会の役割なのではないかと考える。これから結果が出せるように皆で頑張っていく。

【吉田実委員】

安心安全では、前回決まっていた、危険箇所の巡回視察の日程の再調整を行った。危険箇所として、木田の踏切、新保商店の交差点、岩木の小峯橋に入るところ。通学路の問題で、冬季に歩道が確保できない問題の現地視察を行うための日程を決めた。

3月6日（火）の9時から春日謙信交流館に集まり、車を分乗して9時から9時30分で木田の踏切を視察する。その後、9時30分から10時で新保商店の歩道。10時から10時30分で岩木の小峯橋を見る。最後に10時30分から11時で、春日小学校の南側の歩道を見る。

グループのメンバーの他に、都合のよい委員さんがいたら、是非参加していただければよいと思う。できれば報道から取材していただきたいので、事務局に概要を送るので、周知をお願いしたい。また、木田の踏切は県道だということで、県議の小山議員や楡井議員にも声を掛けたいと思う。これが今日の話のメインであった。

次に、空き家問題では、市からの情報が得られていない。町内会長さんに協力してもらい、空き家の状況把握をやっていこうということ。また、防犯パトロールによる空き巣等の犯罪の抑止力があることを認識し、水平展開の状況のポイントを話して終了となった。

【吉田会長】

以上で、全体会を修了する。